

編集後記

★ ISAKOS (International Society of Arthroscopy, Knee Surgery, Orthopaedic Sports Medicine)は1995年に設立された関節鏡・膝関節・スポーツ整形外科の国際的な組織です。現在、私は consultant として同学会の Executive committee に参加しています。ISAKOS の partner society としては、北米関節鏡学会 (AANA)、米国整形外科スポーツ医学会 (AOSSM)、アジア太平洋関節鏡・膝・スポーツ医学会 (APKASS)、欧州スポーツ外傷・膝関節鏡学会 (ESSKA) および南米関節鏡・膝・スポーツ医学会 (SLARD) などがあり、日本スポーツ整形外科学会 (JSOA) は AOSSM とともに国単位での partner society です。

★ 今回、APKSS の代表としてペルーのリマで開催された SLARD 2026 に韓国、香港の先生方とともに参加してきました。広島、羽田、ヒューストン、リマとトランジットを含め30時間の長旅ののち、リマに到着しました。SLARD 2026 では膝関節、肩関節、足関節、股関節など部位別に5会場が設定されていました。各会場ともに大変盛況で、ほぼ満員の状況であり会員の先生方の意識の高さと熱意を非常に感じる学会でした。私は二つの演題発表と二つのパネルディスカッションに参加しました。その他は膝関節を中心に多くの演題を拝聴し

ました。主言語はスペイン語でしたが、同時通訳や英語での国際的なセッションも多くあり、内容の多くは理解可能でした。非常にアカデミックで高いレベルの発表やディスカッションがなされており、自分自身も大変勉強になりました。現在の日本では、医学系のみではありませんが、研究力の低下が指摘され、top 10%論文など質の高い論文数や研究者数の減少ならびに研究時間の減少などが懸念されております。今後も世界と競争し、対峙していくためには、国、大学、学会レベルなどで様々な

対策と意識改革が必要であろうことを改めて実感するとともに、国際的な協同や協調の重要性を深く感じる学会でした。

★ 本号をもちまして、広島大学整形外科名誉教授・生田義和先生が描かれておりました編集後記の挿絵が終了となります。生田先生の挿絵は本誌69巻1号(2018年)の「北海道庁旧本庁舎」から始まりました。全国の大学病院が位置する都市の風景を記した「日本整形外科所在地風物詩」は

73巻13号(2022年)の「広島市 風化する原爆ドーム」で終了となりました。その後は「巨人整形外科医の故郷を訪ねて」として、整形外科の偉人に由来する世界各国の景色や整形外科医の肖像を描かれました。生田先生は2023年1月に他界されましたが、これらの挿絵を見るたびに温厚なお人柄と優しい笑顔を思い出します。改めて生前のご指導に感謝するとともに、ご冥福をお祈りいたします。

(安達伸生)



Sir John Charnley
(1911~1982)

生田義和 画
2026-5-02

顧問	林 浩一郎	石井良章	中村孝志	高岡邦夫	長野 昭	四宮 謙一
	岩本幸英	星野雄一	越智光夫	遠藤直人	大川 淳	
編集	松田秀一	竹下克志	安達伸生	稲葉 裕	吉井俊貴	

臨床雑誌 整形外科 77巻・6号(5月増刊号, 第933冊) 2026年5月25日 発行
編集兼発行者 東京都文京区本郷三丁目42-6 小 立 健 太
印刷所 東京都江東区亀戸七丁目2-12 三報社印刷株式会社

発行所 株式会社 南江堂 〒113-8410 東京都文京区本郷三丁目42-6 編集 TEL 03-3811-7619 FAX 03-3811-8660
https://www.nankodo.co.jp/ 営業 TEL 03-3811-7239

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著作者の権利は、(株)南江堂が保有します。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

広告申込所: 〒113-0033 東京都文京区本郷5-24-6 本郷大原ビル6階 文京メディカル TEL 03-3817-8036